

2013年3月期 本決算概要

2013年5月10日
千代田化工建設株式会社

1. 業績概要

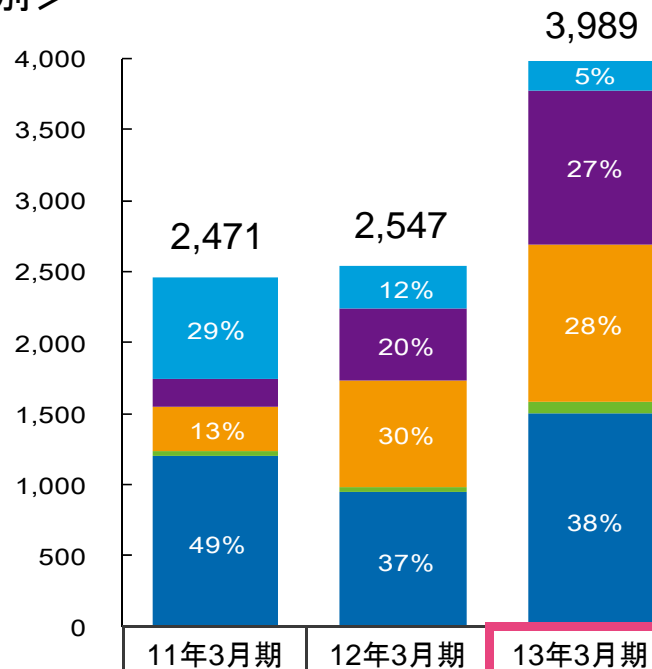
単位：億円

	12年3月期	13年3月期	前年 同期比	伸び率	期首 通期予想	達成率
受注高	6,125	4,029	△2,096	△34.2%	3,500	115.1%
完成工事高	2,547	3,989	+1,442	+56.6%	4,300	92.8%
営業利益	242	251	+9	+3.8%	225	111.6%
経常利益	238	255	+17	+7.2%	230	110.9%
当期純利益	144	161	+17	+11.9%	150	107.2%
包括利益	159	251	+92	+57.9%		
一株あたり配当	17.0円	19.0円			17.5円	
為替レート	82円/\$	94円/\$			85円/\$	

受注高はLNG EPCを含まないものの通期目標を15%上回る結果に。各利益項目もすべて増益で着地。
配当金：配当性向30%以上をふまえ、当期純利益の増加に伴い増配。過去最高の1株配当額。

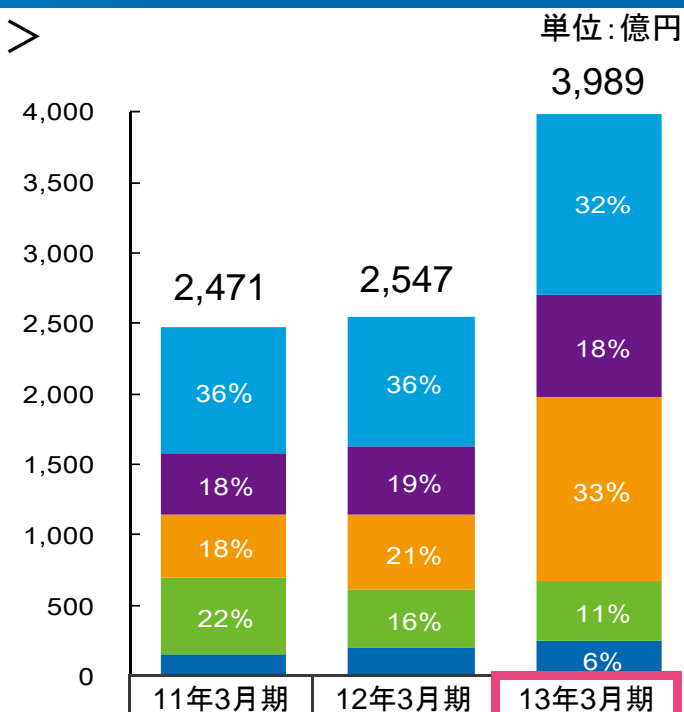
2. 完成工事高

<地域別>



■ 中東	722	304	211
■ アジア	195	500	1,077
■ オセアニア	310	758	1,107
■ その他	34	36	86
海外 合計	1,261	1,598	2,481
国内 合計	1,210	949	1,508

<分野別>



■ LNG	890	919	1,284
■ ガス処理 *1	437	483	730
■ ファイン・インダストリー *2	451	536	1,304
■ 石油・石油化学	535	407	427
■ 環境・その他	158	201	245

<地域別> アジアで前期比倍以上の増額。同地域にて遂行中の案件が順調に推移。

<分野別> 太陽電池部材、医薬品等のファイン・インダストリー分野が伸長。国内LNG受入基地工事の順調な進捗によりガス処理分野も堅調。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス・動力」 *2「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

3. 利益関連項目

単位: 億円

	12年3月期	13年3月期	前期比
完成工事総利益	389 15.3%	425 10.7%	+36 △4.6pt
販売費及び一般管理費	△147	△174	△27
営業利益	242 9.5%	251 6.3%	+9 △3.2pt
営業外損益	△4	4	+8
経常利益	238 9.3%	255 6.4%	+17 △2.9pt
特別損益・税金・少数株主利益	△94	△94	△0
当期純利益	144 5.6%	161 4.0%	+17 △1.6pt

すべての利益項目で期首予想を上回り増益。完成工事総利益率は既完成工事の保証期間中のコスト見直し、遂行中案件の粗利益改善及びグループ企業の貢献等により好調な水準での着地となった。
販売費及び一般管理費の増加は主にオフィス集約費用等の一時的な発生によるもの。

4. バランスシート

単位：億円

	12年3月末	13年3月末	増減		12年3月末	13年3月末	増減
【流動資産】	3,205	3,832	+627	【流動負債】	1,937	2,304	+367
現金及び預金等 *1	1,741	1,829	+88	短期借入金	100	1	△99
営業資産三勘定 *2	573	807	+234	営業負債三勘定 *4	1,627	1,970	+342
JV持分資産 *3	658	947	+289	工事損失引当金	6	13	+7
その他	233	250	+16	その他	204	321	+117
【固定資産】	453	522	+69	【固定負債】	34	156	+122
有形固定資産	190	145	△45	長期借入金	2	101	+99
無形固定資産	46	68	+22	その他	32	55	+23
投資等	217	309	+91	【純資産】	1,687	1,894	+206
【資産】	3,658	4,354	+696	【負債・純資産】	3,658	4,354	+696
				【自己資本】	1,681	1,884	+203
				【自己資本比率】	46.0%	43.3%	△2.7pt

【注】

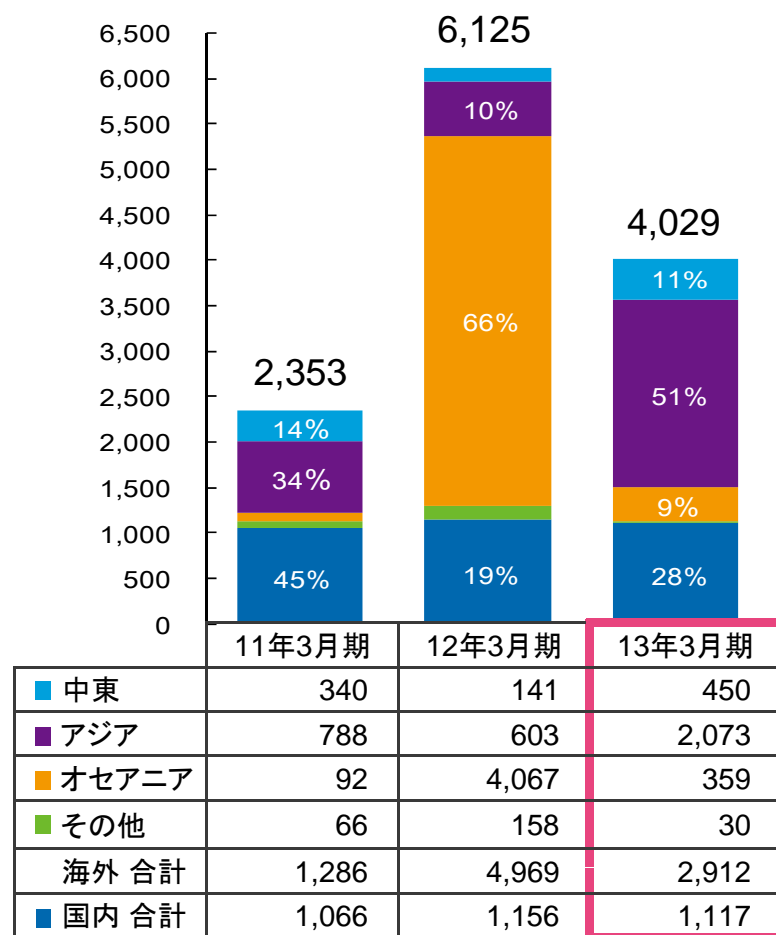
- *1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- *2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- *3 JV持分資産：ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- *4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

固定資産：旧鶴見本社の土地売却の一方、オフィス集約等に係る固定資産の取得、投資有価証券の時価評価額の上昇等により69億円の増加。

純資産：配当44億円を実施したが、当期純利益161億円の計上と投資有価証券の評価差額などの増加もあり206億円の増加。

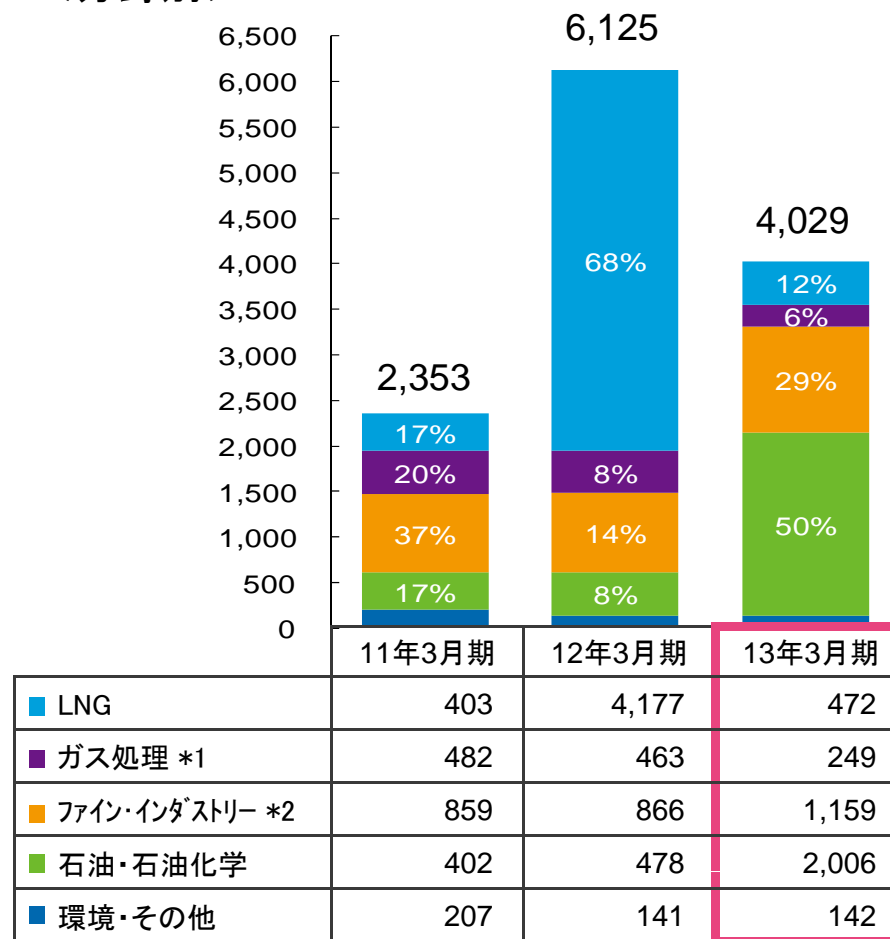
5. 受注高

<地域別>



<分野別>

単位: 億円

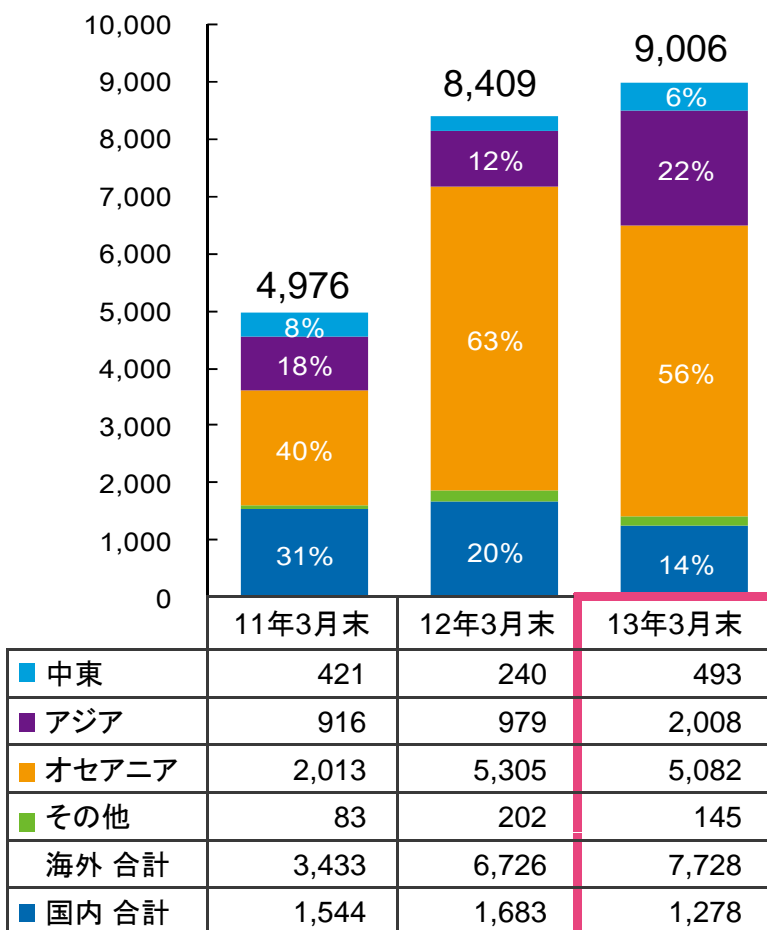


ベトナム及び中東での製油所案件など石油・石油化学分野が大幅に伸長。国内受注はファイン・インダストリー分野を中心に好調な水準を維持。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス・動力」 *2「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

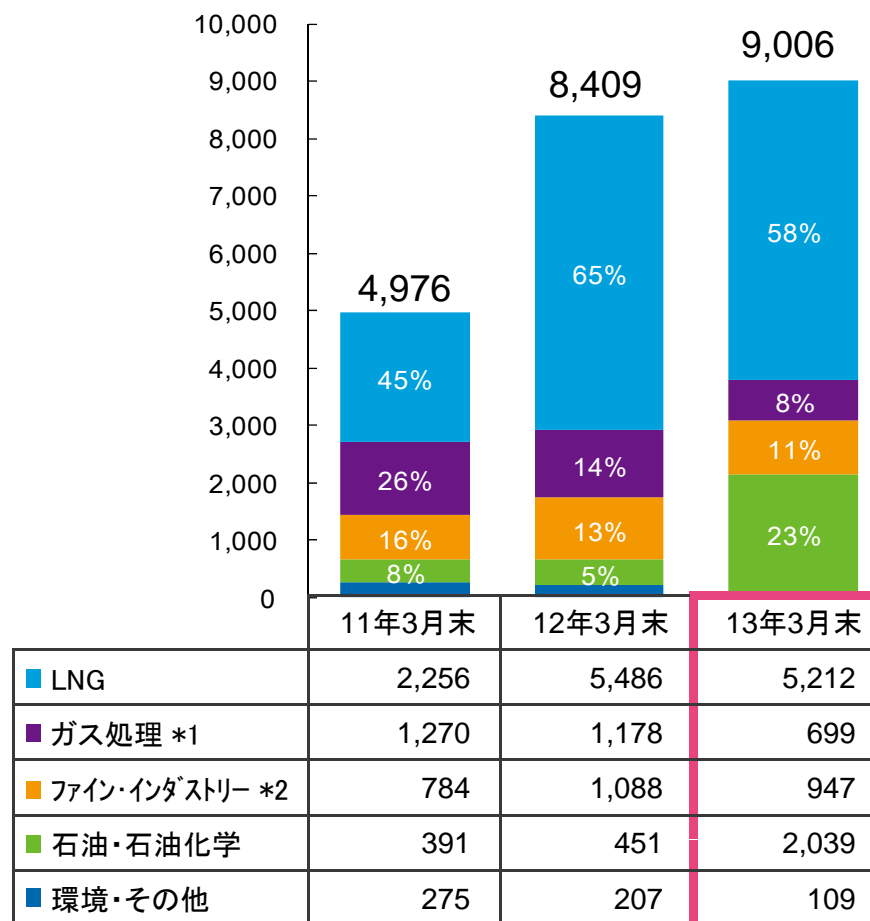
6. 受注残高

<地域別>



<分野別>

単位: 億円



過去3番目の水準。海外の主な案件は豪州とパプアニューギニアのLNG案件、ベトナム製油所案件など。国内は堅調な水準を維持。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス・動力」 *2「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

7. 2014年3月期 通期業績予想

単位: 億円

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比	伸び率
受注高	4,029	6,000	+1,971	+48.9%
完成工事高	3,989	4,700	+711	+17.8%
営業利益	251	240	△11	△4.4%
経常利益	255	260	+5	+1.9%
当期純利益	161	160	△0	△0.5%
配当	19.0円	19.0円	0.0円	
為替レート	94円/\$	90円/\$		

8. 2014年3月期 通期業績予想の内訳

単位: 億円

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比
受注高	4,029	6,000	+1,971
海外	2,912	5,200	+2,288
国内	1,117	800	△317
完成工事高	3,989	4,700	+711
海外	2,481	3,400	+919
国内	1,508	1,300	△208
完成工事総利益	425	420	△5
販売費及び一般管理費	△174	△180	△6
営業利益	251	240	△11
営業外損益	4	20	+16
経常利益	255	260	+5
特別損益・税金・少数株主利益	△94	△100	△6
当期純利益	161	160	△0

参考資料



All Right Reserved. CHIYODA 2013



2013年3月期 完成工事高に含まれる主な案件

◆ LNG・ガス分野

- パプアニューギニア LNGプラント
- オーストラリア イクシスLNGプラント
- カタール 千代田アルマナ社 長期EPCm*業務
- 国内 LNG受入基地(4件)

◆ 石油・石油化学分野

- サウジアラビア 重質油分解装置
- ベネズエラ 重質油処理設備EPsCm**業務
- 国内 地下石油備蓄基地 震災復旧工事

◆ 新エネルギー・環境・インフラ分野

- マレーシア 多結晶シリコンプラント(第一期、第二期)
- フィリピン ニッケル製錬プラント
- 国内 ワクチン製造設備建設工事

*EPCm (Engineering, Procurement and Construction management): 設計、調達、建設管理

** EPsCm (Engineering, Procurement service and Construction management): 設計、調達支援、建設管理

2013年3月期 受注高に含まれる主な案件

◆ LNG・ガス分野

- 既設LNG追加分
- モザンビークLNG、インドネシアFLNG FEED業務(2件)

◆ 石油・石油化学分野

- ベトナム向け製油所・石油化学コンプレックス
- 中東向け製油所
- アジア ダウンストリーム案件PM長期契約(千代田シンガポール社)
- ブラジル 酢酸製造プロセスライセンス業務
- 国内 化学樹脂プラント更新工事
- 国内 石油関連設備新設工事

◆ 新エネルギー・環境・インフラ分野

- マレーシア多結晶シリコンプラント(第二期 現地グループ会社分)
- 国内 メガソーラー建設工事(複数)

2014年3月期以降の受注見通し

◆既存分野

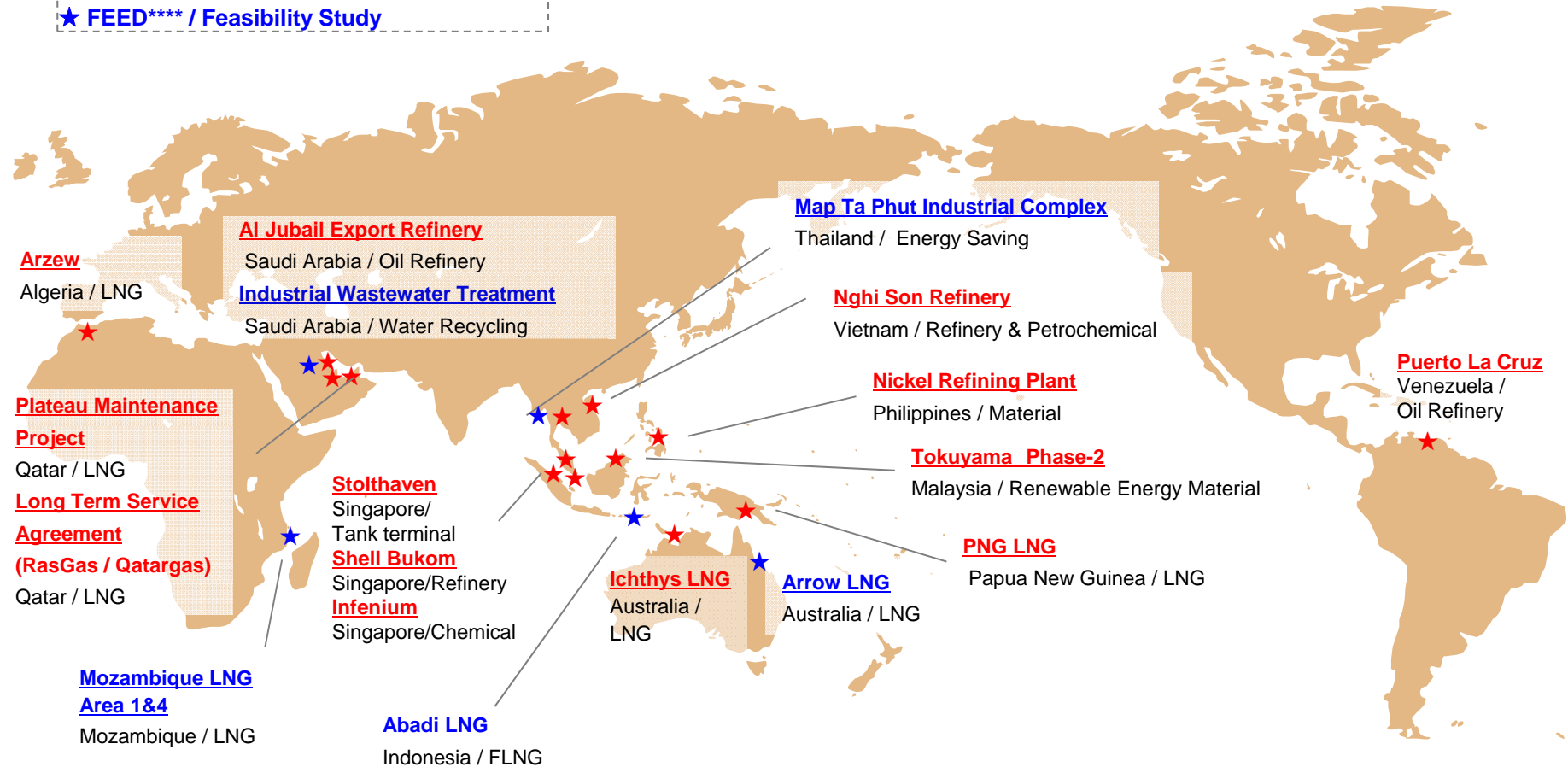
- LNG案件（アフリカ、北米、オセアニア、東南アジア、ロシア、FLNG）
- 海外ガス・石油・石油化学案件（中東／イラク、東南アジア、中南米）
- 海外拠点案件（千代田シンガポール社、千代田アルマナ社他）
- 国内顧客の海外進出案件
- 国内LNG受入基地・医薬品案件

◆新規分野

- 太陽熱・太陽光
- 社会インフラ事業（鉄道・空港・水など）
- 非鉄金属
- オフショア・アップストリーム
- 設備診断・O&M

主な海外遂行案件

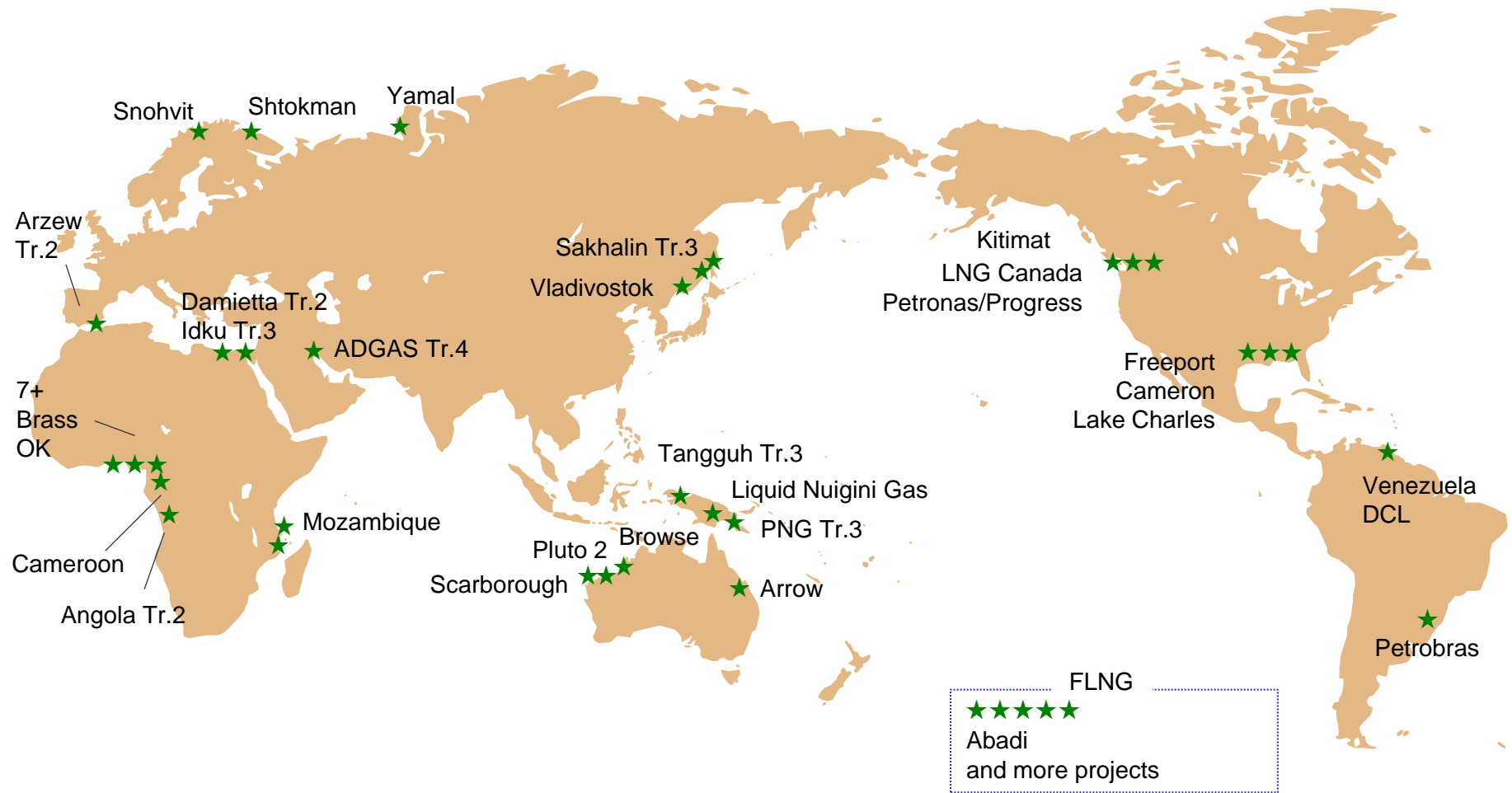
- ★ EPC* / EPCm** / EPsCm*** Execution
- ★ FEED**** / Feasibility Study



*EPC: Engineering, Procurement and Construction
 **EPCm: Engineering, Procurement and Construction management
 ***EPsCm: Engineering, Procurement support and Construction management
 ****FEED: Front-end Engineering and Design

As of April, 2013

計画中(最終投資決定前)の主要LNG案件



As of April, 2013

出所: 各種データより当社作成

経営指標

	10年 3月期	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年3月期 予想
完成工事総利益率(%)	4.5	12.8	15.3	10.7	8.9
完成工事高販管費率(%)	4.0	5.7	5.8	4.4	3.8
完成工事高営業利益率(%)	0.5	7.1	9.5	6.3	5.1
完成工事高経常利益率(%)	1.5	6.4	9.3	6.4	5.5
完成工事高当期純利益率(%)	0.9	3.2	5.6	4.0	3.4
総資産経常利益率<ROA>(%)	1.4	4.6	6.6	6.4	
自己資本当期純利益率<ROE>(%)	2.0	5.3	8.9	9.0	
一株当たり当期純利益<EPS>(円)	11.39	30.79	55.44	62.06	
一株当たり純資産<BPS>(円)	573.61	599.15	648.95	727.24	
自己資本比率(%)	45.3	43.9	46.0	43.3	
流動比率(%)	175.2	173.8	165.5	166.3	
固定比率(%)	25.2	24.0	27.0	27.7	
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.07	0.07	0.06	0.05	

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報セクションSL 中山 直行

〒220-8765 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー

TEL. 045-225-7734 FAX. 045-225-4962

URL <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2013年5月10日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。